

『新』農業経営士、青年農業士、ViC・ウーマン紹介!

農業経営士 高村 孝博氏 (五戸町)

ながいも2ha+にんにく2ha等の高収益野菜を柱に8.5haへ規模を拡大するとともに、緑肥や堆肥による土づくりに取り組み、高品質で安定的な生産を実現しています。また、「館町野菜生産組合」(平成17年設立)に参加して、にんにくの長期出荷体系確立に尽力するなど、地域の絆づくりや魅力的な農業経営を実践して地域の農業振興に貢献しているほか、担い手・後継者育成が第一と考え、若い世代への知識・技術の継承に努めています。



青年農業士 杉澤 均和氏 (南部町)

約10年の会社勤務後の平成21年に就農し、ねぎ専業経営です。また、NPO法人青森なんぶ達者村で特産品「南部太ねぎ」の生産・販売を担当しています。このねぎは栽培が難しいため、地元の名久井農業高校と連携して、高校が研究・開発した「縦穴法」を導入する等、高品質生産に向けた技術改善に力を注いでいます。仲間づくりにも熱心で、南部町の農業後継者組織「南部農夢」の役員や県の若手農業トップランナー塾に参加しているほか、地元の小学校では食育活動を展開しています。



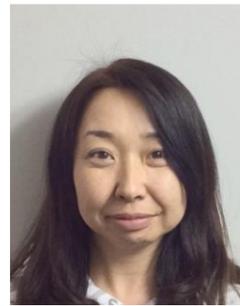
ViC・ウーマン 佐藤 厚子氏 (三戸町)

“消費者に安全で安心な農産物を届けたい”と考え、青森県特別栽培農産物の認証を受けて、にんにくを栽培しているほか、労働条件を工夫して高齢者や農作業未経験の女性パートを雇用して人手の確保に努めています。また、SAN・SUN産直友の会で会計を務め、運営側として産直の販売額向上に意欲的に取り組み、三戸町の加工団体「さんのへ農産加工友の会」に加入、同会の加工場で主に野菜を使った加工品の製造・販売を担っています。



ViC・ウーマン 横沢 美穂子氏 (新郷村)

平成19年から平成21年まで、青森県たばこ耕作組合新五戸女性部会計を務め、他の役員とともに共進会の企画・運営に携わったほか、葉たばこ栽培の基礎や機械点検など、女性部員の連携強化や資質向上のための研修会を開催する等、組織活動を牽引し、現在もこの活動に取り組んでいます。また、葉たばこ作業の効率化に向けて、高性能農作業機械の導入と高齢者の雇用をマッチングした農作業体系づくりに努めています。



農作業安全は、家族みんなの願い!

農作業が本格化する春は、農作業事故が多くなります。機械作業は、基本操作を心がけ、**焦らず、急がず、慎重に行い**、トラブルが発生した場合は、まずエンジンを停止させましょう。



農薬の使用に関すること

農薬を使用する際は、使用基準をよく確認しましょう。周辺の住宅等にチラシや看板であらかじめ広くお知らせすると共に、農薬が飛散ないように風の強さや風向きには細心の注意を払いましょう。

みどりの通信 平成30年度第1号

新年度の始めに寄せて

昨年は8月上・中旬の低温や日照不足のほか9月中旬の台風19号により、水稻をはじめとして、りんごなどの果樹類、ながいもやねぎなどの野菜の作柄に大きな影響がありました。今年は自然災害などに遭うことなく出来秋を迎えられますよう御祈念いたします。

さて、平成28年の本県農業産出額が2年連続3,000億円の大き台に乗り、全国順位も過去最高の7位となり、平成16年から推進している「攻めの農林水産業」の成果の現れであるとともに、生産者や関係機関の皆様の御尽力の賜と受け止めております。

県では、引き続き、販売を重視した各種施策を展開することとしており、当室においても、生産から流通までを結び付け収益力アップのために、「新規就農者の確保・育成」や「農山漁村女性による起業活動の強化」、「すもも有望品種「サマーエンジェル」等の高品質安定生産の推進」、「後継者の育成によるながいも産地の維持」、「将来を見据えたにんにく産地の維持」、「軽量野菜の作付推進」など各種課題に、農業者や関係機関の皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えていますので、御理解と御協力をお願いします。

農業普及振興室長 杉田 誠一

三戸地域稲SGS生産利用組合が 第4回全国自給飼料生産コンクールで 全日本草地畜産種子協会賞を受賞!

平成30年3月5日(月)に(一社)日本草地畜産種子協会主催の第4回全国自給飼料生産コンクールにおいて、三戸町の三戸地域稲SGS生産利用組合(代表:立花康男氏)が全国日本草地畜産種子協会賞を受賞しました。

当組合では肉用牛経営において、平成27年から飼料米を原料とした粗米サイレージを黒毛和種繁殖牛、肥育牛に配合飼料の一部代替給与を行い、飼料費を大幅に削減しているほか、牛糞堆肥を耕種農家に提供して耕畜連携を図っていることなどが評価されました。今後とも、良質の自給飼料生産に尽力されることを期待します。



第19回全国果樹技術・経営コンクール JA八戸桃専門部 「農林水産省生産局長賞」受賞!!

JA八戸果樹総合部会桃専門部が、園地の若返りと消費者ニーズに即した品種構成の改善に努めるとともに、栽培技術研修会や目揃い会、園地個別指導等の実施による高品質で安定した生産の確保、地域果樹振興に寄与していることなどが評価され、第19回全国果樹技術・経営コンクール(主催:全国農業協同組合中央会等)において「農林水産省生産局長賞」を受賞しました。今後とも、ももの産地発展に向けた取組を期待します。



JA八戸 光センサー式選果場

受賞後の赤石専門部会長と山田指導員

〈三八地域県民局地域農林水産部〉
 ・農業普及振興室
 〒039-1101 八戸市大字尻内町字鴨田7
 TEL: 0178-27-5111 (代表)
 TEL: 0178-27-4444 (直通)
 FAX: 0178-27-3323
 ・農業普及振興室分室
 〒039-0134 三戸町同心町字同心町平54-7
 TEL: 0179-23-3264
 FAX: 0179-23-3274



平成30年度

三八地域県民局地域農林水産部 農業普及振興室 職員紹介

今年度も農業普及振興室をよろしくお願いいたします！！



その他、管内の農業・農村の動きや農業普及振興室の活動状況はこちらをご覧ください！
農業普及振興室ホームページ↓
<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/sa-nosui/>

室長



農業普及振興室長
杉田 誠一

企画担当



主幹 (副室長)
藤井 明彦
企画担当総括



主査
渋川 明弘
(畜産・農業の
適正使用)



主査
佐々木 暁喜
(食品表示・経営体
育成支援事業)



技師
佐藤 佑
(特裁・エコファーマー・
産地パワーアップ事業)



非常勤事務員
卯道 貴子

農地中間管理機構



機構事業推進員
中里 登



機構事業推進員
川守田 貢

経営・担い手担当



主幹 (副室長)
佐藤 隆志
経営・担い手担当
総括



主幹
西館 勝富
(6次産業化・女性
起業・青少年)



主幹
川島 章
(農業経営・地域
経営)



主査
木下 肖
(農山漁村女性
リーダー育成)



主査
古川 耕一郎
(新規就農・農業経営
士、青年農業士)

野菜・果樹担当



主幹 (副室長)
對馬 和明
野菜・果樹担当
総括



主幹
工藤 秀樹
(果樹)



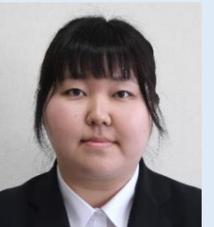
主幹
松川 佳澄
(野菜)



主査
出町 友玲
(野菜)



技師
鶴田 万智
(果樹)



技師
福士 苑華
(野菜)



専門員
高谷 護
(野菜)

農産・花き担当



総括主幹 (副室長)
太田 富広
農産・花き担当
総括



主幹
三浦 嘉浩
(水稲・経営所得
安定対策)



主査
坂川 雄亮
(花き・野菜)



技師
油川 慧人
(水稲・畑作物)

三戸分室



主幹 (副室長)
久保 隆
三戸分室総括



主幹
雪田 隆史
(花き・野菜)



主幹
成田 治
(水稲・野菜)



主査
鈴木 健司
(果樹)



技師
永澤 里佳
(野菜)



非常勤事務員
大村 理華子